

指導技術		観点別の授業改善の視点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させる手だて	思考・判断を向上させるための手だて	資料活用の技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> チャイム着席(机上の準備)を習慣づけ、教室内の環境の整備もおこない、授業規律の確立を図る。 忘れ物点検をしっかりと行うなど学習規律を確立する。 授業の前には教科係に指示を与え、配布物などの授業準備を行なう。 本時のねらいを提示し、目標を定める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の学習内容について、前時の学習の復習を含めて確認する。 本時のねらいを確認する。 生徒にとって身近な話題を導入にする。 視覚的な教材の提示を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞やテレビのニュースを含め、生徒の身近な話題や体験と結びつけて考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料集や地図帳などを机の上に置き、常に資料を活用できるようにする。 ノートは見開き1ページを1時間分として、また、自分で工夫してまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト(国名、都道府県名、年号等)を実施し、知識・理解の定着を図る。 覚えなければならぬ用語は板書を工夫する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問を工夫する。 授業の流れに役立つワークシートや資料提示を行なう。 視聴覚教材、図書資料、掛図などの教材教具を工夫して使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動的な学習活動を取り入れ、ノートを工夫する時間をとり、生徒の意欲を高める。 机間指導の時に個別指導もおこない個々の意欲を引き出し、意見を発表しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料図やグラフを利用し、考察する時間を設ける。 自分の考えを発表する時は、資料を示すなど根拠を挙げて発言させる。 時事問題を取り上げ自ら考え判断する力を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフ、図などの読み方や書き方の基本を身に付けるためのワークシートを工夫する。 学習内容に合った表やグラフ、図などの資料を自ら探し出す場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識を獲得するためのワークシートを工夫していく。 小テストを実施し基礎知識の定着を図る。 教科書や地図帳・資料集などの資料提示のページを板書しておく。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の再確認を重要事項に絞っておこない、基礎・基本の徹底理解を図る。 本時のねらいを達成できたか確認し、気づいたことや疑問等がある場合にはノートに記録させておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な自己評価を取り入れ、学習を振り返るようにする。 次時の学習内容やねらいを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ねらいが理解できたかを発問し、考えをまとめさせる。 授業内容を再確認し次時の学習につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容をノートにまとめることができたかを確認する。 ワークシートの記入のための時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことをノートやワークシートにまとめ知識を整理しておく。 家庭学習に取り組めるように、関連、発展事項を紹介しておく。